



ここに2011年春号を発行いたします。

東日本大震災に被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地が一日も早く復興することを心よりお祈り申し上げます。

想像を超える被害の甚大さに私達も心痛でいっぱいです。

さて、23年度がスタートしました。今年度も地域の方々のため、家庭的で心あたたまる医療を提供してまいります。

なお、募金箱を1F受付に設置したところ、多額の募金が集まり、日本赤十字社に送金いたしました。誠にありがとうございました。引き続き募金箱を置きますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

事務長 兼子 佳明

## Let's Cooking

丸ごとのキャベツに肉を詰めるので  
手間いらず。  
下ごしらえをしたら後は鍋まかせ。

### キャベツ丸ごとロールキャベツ

- ① Aは合わせてよく練り混ぜる。
- ② キャベツは芯をくりぬき、やや深めに十字の切り込みを入れ、切り込みの部分に①を詰め、たこ糸を3方向にかける。
- ③ 鍋にBを合わせ、2の肉詰めたほうを上にして入れ、ふたをしてキャベツがやわらかくなるまで弱めの中火で1時間～1時間半煮る。
- ④ たこ糸を切り、食べやすく切り分ける。

#### 材料(作りやすい分量)

・キャベツ	1個(800g)	
A	・合いびき肉	300g
	・タマネギ(みじん切り)	1個分
	・パン粉	1/4カップ
	・牛乳	大さじ2
	・塩	小さじ1/3
	・コショウ	適量
B	・トマト(皮を湯むきしてざく切り)	4個分
	・水	4カップ
	・固形スープの素	2個
	・トマトケチャップ	大さじ4
	・砂糖	小さじ1
	・ローリエ	1枚

## Point

キャベツがぴったりと収まる鍋で作ると、煮くずれしませんが、煮始めは噴きこぼれの心配も。

最初はアルミホイルをかぶせ、キャベツがしんなりしてかさが減ったら鍋のふたをすればO



# 東日本大震災

院長  
庄司 孝

東日本大震災の被害にあわれた多くの方々に心よりのお見舞いを申し上げます。

直接的には義捐金を送るなど限られたことしかできませんが、この災害は、日本中すべての人々に大きな被害をもたらしたものです。私たちも力を合わせて、復興にまい進する決意です。

関東東北地方での出産が難しくなりこちらに来られた方がすでに数人となりました。私たちで出来ることは力の限り努力します。全国の産婦人科医会も、困っておられる東北・関東の妊婦さんを受け入れる意思を表明しています。それぞれの国民一人一人が被害を受けた方々に援助の手を差し伸べ、自分たちの仕事をやり遂げることが、国の立ち直りにもっとも重要だと考えます。

私たちは必ずこの災害を乗り越えます

この災害は過去最大規模の一つと云えるでしょうが、人類史上の最大規模を超えるものではありません。日本人はこの試練を乗り越えて、新しい発展を勝ちとると信じています。先の大戦で数百万人の死亡とすべての産業の壊滅的被害を受けながら見事に復興を成し遂げた日本の復元力はめざましいものでした。それもわずか60年ほど前の経験で記憶に新しいところです。大震災とそれに続く放射能汚染は、大規模なものですが、日本人にとって全く未知の出来事ではありません。日本人の勤勉さ、秩序を保つ能力、悲しみに負けない耐える力、精神力、団結力などなど優れた資質は、このような大災害にも負けない回復力を持っています。私たちは小さな病院ですが、自分たちの持ち場を守って、一人ひとりが力を合わせて努力することが日本全体の未来を築く事業への貢献となることを確信するものです。

過去に学んで未来に進みます

一方、われわれには、過去に学んで次の歴史を創造する能力には欠けている面があるのかもしれませんが。幾度も襲ってくる三陸地方の津波にその度ごとに甚大な被害を受けることは、どうでしょうか。この地震、津波、放射能汚染、いずれもこの100年ほどで最大級ではあります。しかし地球の歴史でいえば、過去の永劫の歴史の中で、もっとも恐ろしい出来事は無数に繰り返されてきた事です。コントロールのきわめて難しい放射能に対するのに、東海村の臨界事故の時は、バケツで放射性物資を汲んでいたなどの失態がありました。今回もバケツで汲み上げた海水を振りかけて原子炉を冷却するなど、最新の放射線装置の保守活動とも思えぬ有様です。よそ見をしていたら冷却水を循環させるポンプの燃料切れでストップして高温になったと信じられないミスもありました。何よりも放射線障害としては歴史上初めて世界に先駆けて大量被ばくを経験していながら、それはケロリと忘れて原子力発電にエネルギー政策の基本を置こうとする姿勢は如何なものでしょうか。

放射線障害では間違った解説をする向きがあります。CTなど医療で使われる放射線とくらべて、ホウレン草の汚染はごくわずかだからまったく心配ないというものです。これは放射線障害と、微量でも半減期の長い放射性物資を身体に取り込むと、特定の臓器に濃縮され、長時間障害を与え続ける内部被曝障害との違いを理解していない発言です。

某政治家が、人類が我慾に走るから今度の事態は天罰だと云ったといひます。一体天は何の罪もない幼子を冷たい海水の中で凍えさせ瓦礫の下敷きにして殺すものでしょうか。天罰発言はさすがに取り消したと云いますが、弱者に対しての差別的発言を繰り返し、戦争の加害や被害は忘れて、右翼的言辭を繰り返すような過去に学ばないような指導者では、国民は不幸であると云わざるをえません。

良き指導者の下、経験に学び、団結して力をつくすならば、日本はかならず再生するし、豊かな未来が来る事を確信するものです。私たちも微力を尽くす所存です。

2011.3.28

